

立命館グローバル・イノベーション研究機構 (R-GIRO) は、2008年の設立以来「21世紀の持続可能で豊かな社会の構築」に向けて、自然科学と人文社会科学を総合した研究活動を展開し、その成果を世界に発信してまいりました。このたび、第3期 R-GIRO 研究プログラムとして「少子高齢化に対応する生命力と創造性あふれる人間共生型社会モデルの形成」に軸足を置いた研究拠点形成型プログラムの研究活動をスタートいたします。

今回のシンポジウムでは、国立研究開発法人産業技術総合研究所 人工知能研究センター長の辻井 潤一氏を基調講演者としてお招きし、「実世界に埋め込まれる人工知能」と題して、人工知能技術に関する最新の知見をご紹介します。第3期 R-GIRO 研究プログラムの研究拠点紹介を踏まえて、少子高齢化に伴って生じる具体的課題を、学外からお越しいただいた有識者の方々とともに議論したいと考えております。

皆様のご来場を心よりお待ちしております。

立命館大学長

立命館グローバル・イノベーション研究機構長 吉田 美喜夫



第3期 R-GIRO 研究プログラム キックオフシンポジウム

人口減少の 2060年問題解決へ 少子高齢化を新しい視点でデザインする



2017 6.23 金

会場 立命館大学 びわこ・くさつキャンパス

13:00~17:20 (懇親会 17:30~18:30) 立命館大学ローム記念館5階 大会議室 [参加費] 無料



PROGRAM

開会挨拶

開会挨拶ならびに私立大学研究ブランディング事業の概要説明

立命館グローバル・イノベーション研究機構 機構長代理 村上 正紀

基調講演

テーマ「実世界に埋め込まれる人工知能」

国立研究開発法人産業技術総合研究所 人工知能研究センター センター長 辻井 潤一 氏

第3期 R-GIRO 研究プロジェクト紹介

有機生命資源の有効利用による電子・光機能材料の創製

立命館大学 生命科学部 教授 前田 大光

暮らしのスマート・エネルギーイノベーション研究拠点

立命館大学 理工学部 教授 峯元 高志

次世代人工知能と記号学の国際融合研究拠点

立命館大学 情報理工学部 教授 谷口 忠大

感覚統合をコアとした健康行動継続学の創成

立命館大学 スポーツ健康科学部 准教授 塩澤 成弘

長期的人口分析に基づく持続型社会モデルの研究拠点

立命館大学 文学部 教授 矢野 健一

パネルディスカッション

[パネリスト]辻井潤一氏(基調講演者)、坂本修一氏(文部科学省 科学技術・学術政策局 産業連携・地域支援課 課長)、佐和隆光氏(滋賀大学 特別招聘教授)、西本清一氏(京都高度技術研究所 理事長)、東島清氏(京都大学 監事)、山本佳世子氏(日刊工業新聞社 論説委員兼編集委員)、谷口忠大(立命館大学 情報理工学部 教授)、安田裕子(立命館大学 総合心理学部 准教授)
[モデレーター]津田雅也(立命館グローバル・イノベーション研究機構 シニアアドバイザー)

閉会挨拶

立命館グローバル・イノベーション研究機構 副機構長 平岡 和久

お申し込み
お問合わせ

参加ご希望の方は、氏名・所属を明記のうえ、EメールまたはFAXにてお申し込みください。
立命館大学BKCリサーチオフィス R-GIRO 事務局 (勝山・廣瀬)

FAX

077-561-2633

E-MAIL

r-giro@st.ritsume.ac.jp

TEL

077-561-3412

